

## ホストファミリーとの交流を振り返って

### ベトナム社会主義共和国留学生 ブイヴァン・バオ



まずはじめにベトナム留学生及び留学全般について簡単に紹介します。ベトナム留学生は本科15名、研究科10名の計25名が防大に在籍し、両国の懸け橋たるべく勉学等に励んでおります。

次にホストファミリーとの交流について紹介します。私たち留学生はホストファミリーとの交流を通して、日本の文化・伝統・生活習慣を体験・理解するため、週末や休暇時にホストファミリーのご家庭を訪問させて頂いています。



私にとってホストファミリーのご家庭を訪問させて頂くことは素晴らしい経験であり、学生舎での生活とは大きく異なります。私はホストファミリーから日本の文化・風習をたくさん学びました。学校で教わっても分からないこと、教科書に書かれていないこともたくさんありました。例えば、春のお花見、夏の花火大会、冬のお正月等です。これらイベントと一緒に参加させて頂くことで、ベトナム文化との違いを認識し、互いの文化に敬意を持つことができました。またホストファミリーから様々なお話を聞くことで私の日本語も大きく改善されました。更にご家庭での美味しい食事は非常に楽しみなものです。私にとって、ホストファミリーのご家庭は本国の実家と同じくリラックスできる場所になりました。長いようでとても短かった約5年間の留学を振り返り、私たち留学生が日本や日本人について深く理解しようとするのであれば、ホストファミリーの家族と一緒に生活することが一番の方法だと思います。

最後にこの場を借りてホストファミリーの皆様へ感謝



の気持ちを伝えさせてもらいます。毎年大変お世話になっております。家族と遠く離れた私たちにとってホストファミリーとの交流は非常に貴重な経験です。皆さまのお蔭で日本での生活が充実したものとなり、安心して勉学に集中することが出来ました。これからも宜しくお願いします。



## 協力家庭との交流



タイ王国留学生  
メーターワット・タンマギット

### 日本で初めてのホストファミリー

私は日本に留学したばかりの頃、日本語や日本の文化などがよく分からなかった。最初は先輩達に教えてもらって、それからホストファミリーにいろいろと教えてもらった。防衛大学校で初めてホストファミリーに会った。私は国の友達と同じホストファミリーである。最初ホストファミリーに会った時に、本当に嬉しかった。その時に私はまだ日本語研修生なので、いろいろな日本語の言葉を教えてもらった。

あまり行かなかったが、3連休などがあつたら、いつも行っていた。防大の1年生が平日にいろいろなことをして、けっこう疲れたので、ホストファミリーの家に行った時にいつもゆっくり休めて、本当に良かった。私は2,3年になって私服で外出できて、いつも友達と鎌倉まで行って、ホストファミリーと一緒に食事をしていた。私は友達とたまにホストファミリーの家で泊っていた。4年生になって、なかなか仕事が多くて、忙しいのであまり行かなかったが、3連休の時はいつも友達と一緒にいった。

### ホストファミリーとの交流

日本語研修生のとき、私はいつもホストファミリーの家に行っていた。特に夏休みと冬休みに何日もホストファミリーと過ごした。家に行った時にお母さんはいつも美味しい料理を作ってくれた。毎回お腹がいっぱいになった。日本語研修生の時に一番印象があったのはお正月であった。私はお正月に友達と一緒にホストファミリーの家に行って、餅を食べて、5時ぐらいに起きて、海まで行きホストファミリーと一緒に初日出を見た。本当にきれいであった。その後は近くの神社に初もうでに行った。そして家まで歩いて行って、家でお父さんと一緒に箱根駅伝を見た。本当に楽しかった。

1-4年生のとき、私は1年生の時になかなか忙しくて、

### ホストファミリーへの感謝

私は自分の国から遠いところまで離れ、両親に会えなくても、このような温かい家族と一緒に過ごして、私の寂しい気持ちがなくなりました。お母さんはいつも美味しい料理を作ってくれて、お父さんもいつも駅まで迎えてくれて、5年間いろいろとお世話になりました。お父さん、お母さん、本当にありがとうございました。私は防衛大学校から卒業しても、絶対このような温かい家族を忘れない。お父さん、お母さん、タイに行く時にはいつでも私を呼んでください。これからもよろしく願います。



## お母さん

インドネシア共和国留学生  
レザ・プラスティアワン

2009年4月1日防衛大学校に来校した。その時はまだ右も左もわからなくて、どうすれば良いのかもまだ分からない。その時、先輩が正門で迎えに来た。そして、色々な事を先輩から教えてもらった。時間が経ってどんどん防衛大の生活になれてきた。

5月末に、当時の2学年の先輩がホストファミリーと一緒に食事をしたと言った。そしてその先輩が私を連れて行った。あるファミリーレストランで待ち合わせをした。あそこでお母さんと初めて会った。最初に私は自己紹介をした。その後、お母さんと色々なことを話した。夏休みは一週間ほどお母さんの家に泊まった。その時お母さんと旅行した。私たちは箱根に行って、いい思い出になった。そして日本語もどんどん話せるようになって、お母さんと色々話せるようになった。家に行った時いつも料理を作ってもらった。またお母さんからのアドバイスなどもたくさん教えてもらった。優しいお母さんで本当によかった。

お正月の時、いつも大家族が集まってきた。そのとき初めてお母さんの息子たちと孫たちに会うことができた。いつもお正月の前の晩はそばを食べた。そしてお正月の朝におせち料理を食べた。すごくおいしくてみんなで食べる時は一番楽しかった。そのあとお墓参りに行った

りした。本当にいい経験になった。

お母さんは優しく、いつも「レザ、元気ですか」、ときどき、「今日は時間ありますか？一緒に食事しましょう」とメールが送られて来た。嬉しくて、自分の本当のお母さんのようにすごく優しい。お母さんが大好き。お母さんと出会ってよかった。



## 感謝

フィリピン共和国留学生  
ステファン・デゴハス

日本のお父さんとお母さん「5年間ありがとうございました」という感謝の言葉でこの記事を書き始めたいと思う。

お父さんは私が日本語研修生の時に亡くなられた。そのため少しの時間しか一緒に過ごすことができなかったが、お父さんは日本に来たばかりで不安と希望を胸にしていた私にとっても優しくしてくださった。

お父さんが亡くなられてからはお母さん一人となってしまったが私は多くの良い思い出を作ることができた。日本に来て最初にもらったカードはお母さんからの誕生日カードであった。ここで私はお母さんと同じ誕生日であることを知りこれも何かの縁であるのかと感じた。その後お母さんからは誕生日、クリスマス、季節の変わり目には体調を心配してくださる手紙をたくさん頂いた。休暇になりホームステイをさせて頂いた際には、一緒にお酒やビールを飲んだり、食事したり、映画などを見て、楽しい時間をお母さんと過ごした。またお母さんは会話の中から私の好物や必要としている物を見つけていつも用意して下さる。私はこのような場面で日本人の細かい気づかいや思いやりという素晴らしい文化を身を持って知ること

が出来た。ホームステイ先の方ではあるが本当のお母さんのように親身に面倒を見てくださり、私にとって第二の家族と呼べる方が日本にできたことを素晴らしく思うとともに心から感謝の念を感じる。日本政府及びフィリピン政府の今後の発展に尽力し、さらなる友好関係を築いて行けるようお願い、ここに感謝の言葉とする。



## 協力家庭の交流

カンボジア王国留学生  
ロイ・ワンサック

私が日本に来て優しい協力家庭の方々と出会えたお話をしたいと思います。私は日本に留学する事が決まった時は本当に嬉しく感じましたが、実際に日本に来てみると自分が思っていた事とは全然違い、最初の一か月間はものすごく寂しくて、実家や親の事を想って悩んでいました。逢いたくて帰りたいと泣いた日もありました。

それでも日々生活を送るうちに悩みも少しずつ消えていき、さらに先輩から我々留学生は、日本人の方々が協力家庭となり、ホームステイさせてもらえることを聞きました。そして、その方々はどんな方かなあ、自分の親みたいによく面倒をみてくれるかなと考えて楽しみにしながら、自分の日本語もまだ全然通じないのに、その方々に会う時にどういったコミュニケーションをとったらいいかなあっと緊張していました。そして待ちに待った逢える日が来ました。協力家庭の方々は自分が思っていたよりすごく親切で優しく優しい方々でした。しかも、分かりやすい言葉で話してくれて本当に嬉しかったです。いつも、機会があるといつも協力家庭の方々の家に遊びに行っています。そして、私はその方々に自分の家族、趣味、防大生活、自分の国、自分の将来等の話を話しています。新しくできた協力家庭のお父さんとお母さんはすごく優しくしてくれます。

私の協力家庭のお母さんは家でお仕事をやっていたりちょっと忙しいですが、たくさん一緒にお話をしてくれます。そして、ご飯を食べに行きながら色んなところに連れて行ってくれます。色んな所に行きながら沢山の日本文化も教えてもらいました。お母さんは話すことがものすごく上手です。お父さんはお母さんと違って人が沢山いる場所ではあまり話しません。家の中ではお母さんとあまり変わらないです。お父さんもお仕事をしています。仕事から帰る際に畑に寄ってお父さんが作っているキュウリ、トマト、キャベツ等をとってきてくれることがあります。その畑の野菜は外に売っている野菜みたいに見える形はしていませんが、味に関しては売っている野菜よりとっても美味しいです。

私たち留学生がお世話になっている協力家庭の方々は、それぞれ違い、皆は色々な過ごし方、経験、面白さがあると思います。私の場合でも、他の留学生でも全て素敵で優しい方々です。いつも面倒を見てくれて心から感謝します。私たちはお父さんとお母さんが大好きで一生忘れられないです。今まで本当にありがとうございます。

私も歳をとってからお父さんとお母さんのような機会があれば私も協力家庭になります。



## Mさんと猫と私の交流



モンゴル国留学生  
ナランオチル・トゥフシンバヤル

ホストファミリーとは、私達モンゴルの留学生を本当の家族として迎えてくださる方々のことである。特に私のホストファミリーのMさんはとても優しく、猫が大好きな方である。現在は息子さん1人と猫5匹と一緒に鎌倉に住んでいる。

日本に来てしばらくしてMさんのお宅に伺ったとき、五匹の猫が飼われていたことがわかった。ちなみに私は猫が大嫌いである。Mさん宅に初めて泊まったとき、何も考えずに部屋のドアを開放して寝ていたところ、朝目覚めたら顔が濡れていた。私の目の前には猫がいた。私はびっくりして反射的に猫を引き剥がした。そのようなことがあり私は猫が本当に嫌いになった。それからMさんのお宅に泊まる時はしっかりドアを閉めて寝るようになった。しかしこんな私でも次第に猫に慣れてきた。

猫は意外にかわいい動物だとさえ思うようになってきた。最近は部屋のドアを開けて夜寝ることができるようになった。でもやっぱり犬の方が好きだ。

この様に猫と悪戦苦闘する私ではあるが、日本の文化もしっかり学んでいる。例えば、日本では正月には家族、親戚、近所の人々、その他大勢の人々が集まり、餅つき大会を行う。私にとって初めての体験であり、楽しそうな見た目とは裏腹に、実際に餅をつくのは大変な重労働だと知った。

これらの大切な思い出を作る機会を与えてくれたMさん達には今でも言葉に表せない程感謝している。モンゴルの後輩達も私と同じように日本の素晴らしい文化を学んでいくことができるようこれからもどうぞよろしく願いいたします。

## 第12回防衛大学校同窓会囲碁大会（個人戦）結果

第12回防大同窓会囲碁大会（個人戦）は、平成25年9月15日（日）東京池袋サンシャインビル9F 囲碁サロン「本因坊」に於いて、12名（現役学生3名を含む。）が参加し実施されました。

当日は、京都に大きな被害をもたらした台風18号通過前で生憎の雨模様でしたが、前日の団体戦に引き続き、個人戦4回戦の熱戦が行われました。

大会は星の潰し合いとなり全勝者がなく、5名が3勝1敗となり、スイス方式により優勝は5期川上氏、準優勝7期松井氏、3位4期清水氏という結果になりました。また、今回は、前日の団体戦にお手伝い頂いた現役棋道部員3名（4学年58期大友学生、光安学生、3学年59期村上学生）も参加されました。

次回は、団体戦平成26年9月6日（土）市ヶ谷日本棋院、個人戦同9月7日（日）場所（別示）の予定です。

なお、団体戦結果は、防衛大学校同窓会ホームページお知らせに掲載しています。（同窓会事務局：囲碁担当）



## 協力家族との交流

タイ王国留学生  
チャーラウィ・デーンヤイ



私はタイ王国出身の留学生、チャーラウィ・デーンヤイです。5年前に家族の元を離れ、日本に留学しています。

防衛大学校の留学生は皆、ホストファミリーを持っています。私のホストファミリーは並松さんという方です。私にとって、並松さんは自分の親のようなもので、親と同じように愛情を抱いています。私は並松さんがホストファミリーであることに感謝しています。並松さんは防衛大学校を卒業され、海上自衛隊で勤務されました。つまり、私の大先輩ということになります。私だけではなく、他のタイ留学生の面倒も見て下さっています。

初めて並松さんに会った時、やや怖い印象を受けましたが、話してみると実は優しい方でした。並松さんの家に遊びに行くと、お母さんは美味しい料理を、お父さんは美味しいお酒を準備し、皆で夕食を食べます。お母さんの作る料理はどれも美味しく、特に鶏唐揚げは絶品です。また、お父さんはいつも様々なことを教えてくれるので、本当に勉強になります。防衛大学校の開校記念祭では、お父さんとお母さんはいつもタイ文化研究同好会を訪ね、お土産を持って来て下さるので、とても感謝しています。

並松さんは私に「頑張れ」と、日本語は難しいけれど努力すれば上手になると言って下さいます。日々の生活において、私はよく並松さんの言葉を思い出します。母国を離れ、寂しく思うこともありますが、並松さんのおかげでその寂しさがなくなるようです。ホストファミリーは留学生にとって本当に大切な存在だと思います。

今年度、私は防衛大学校を卒業しますが、まだ帰国するわけではありません。卒業後は海上自衛隊の幹部候補生学校に入校し、教育を受けることとなります。お父さんとお母さんに会う機会は少なくなりますが、東京に来ることがあれば、遊びに行くつもりです。お世話になりました。本当にありがとうございました。